

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Liposomal Doxorubicin + CBDCA + Bevacizumab療法

4 週毎 6 コース予定

疾患名 卵巣癌

主治医 _____ 指導医 _____ HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓
ドキシル(ドキソルビシン・リポソーム)	30 mg/m ²	↓
カルボプラチン	AUC 5	↓

【注意】 * ドキソルビシン・リポソームの投与速度は1 mg/分を超えないこと。

* ドキソルビシンの総投与量が500 mg/m²を超えると、心筋障害によるうっ血性心不全が生じる可能性があるため注意すること。

* ベバシズマブの初回投与時は90分かけて点滴静注し、2回目は60分間で行っても良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30分間投与でも良い。

* 併用化学療法終了後は、ベバシズマブ単独投与を継続すること。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1

- | | |
|--|---------------------|
| ① 生食 500 mLで血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② ベバシズマブ + 生食 適量(全量100 mL) | 点滴静注90~30分 |
| ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg + アロカリス 235 mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(200 mL/時間) |
| ④ ドキシル + 5%ブドウ糖 250 mL | 点滴静注120分(125 mL/時間) |
| ⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖 250 mL | 点滴静注60分(280 mL/時間) |

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 内服

	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						